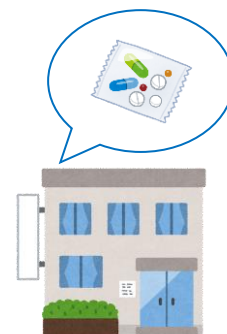


②はしご（重複）受診はやめましょう

「お医者さんの診断に納得がいかない」
「処方される薬がどうも効かない」
「念のため、別の病院にも・・・」

このように、同じ病気で医療機関を転々とするのを「はしご受診」といいます。
しかし、安易なはしご受診には大きなデメリットがあることをご存じですか？



◆お金の負担・体の負担

同じ病気で複数の医療機関を受診すると、**そのつど初診料がかかってしまいます**。

もちろんそのほかにも検査代や薬代などがプラスされ、なかにはすでに受診した医療機関で行われた検査や処方された薬が重複する場合があります。

これは、お金の問題だけではありません。

重複する検査や同じ効能の薬を何種類も服用することは体にとって大きな負担となり、そのうえ、どの治療・薬が有効だったのかわからなくなって治療方針が確立できなくなります。

◆はしご受診は時間がかかり病状が悪化することも・・・

医療機関を渡り歩くために時間がかかり、その間に病状が悪化する可能性もあります。
病気になったときは、早期発見・早期治療が重要です。

適切な医療機関を見つけたいがために病気の重症化を招いてしまつては、元も子もありません。

一番の問題は、はしご受診で多くの医師が関わるため、誰がその**患者の体全体の健康の責任を持つかが明確でなくなる**ことです。



セカンドオピニオンと勘違いしていませんか？

セカンドオピニオンとは、**がんなどの重い病気の場合に、患者にとって最善の治療を選択するために別の医師の意見を求めること**です。

目的は、患者が主治医とともに治療を選択するということにあります。

担当医を替えたり、転院してそこで治療を受けたりすることではありません。

あくまでも「ほかの医師に意見を聞くこと」。

それがセカンドオピニオンです。

当組合では、適正な保険給付の決定のため、「はしご受診」や**重複する薬剤の処方を受けている方の調査を強化しております**。

皆さんからお預かりしている貴重な保険料を大切に使うために、皆さんのご協力をお願いいたします。